

アソカ講話069

テーマ「学ぶ目的は争わない社会を作ること・・・人間関係を円滑にする」

斎藤一人さんは、その著書で人間関係を円滑にするために次のような言葉を述べている。

「音には別の音を消す周波数がある。それと同じで恐れの変動は、愛の変動で消すことができる。そうすると、怒っているのが治まってくる。理論と言うのは人をやっつけるためにあるのではない。人と争わないことが正しい。理論も自動車も一緒に、相手が出てきたら自分が下がってあげるって決めておけばいい」と。

「私達が学ぶ理論や知識は人と争うためにあるのではない」という言葉はハッとさせられる。テレビの討論会では、如何に人と議論して相手をやっつけるか、争いに勝つことを目的としているような場面を良く見る。この人たちは、何のために、学問や理論を見につけたのかと悲しくなることがある。

私達の学ぶ目的は、一人さんの言うように人と争わず、思いやりを持って豊かで優しい社会を作ることにあるのに、今の社会は、その目的を忘れ、知識や理論ばかりが先行してしまっている。

私達の職場は、学べば学ぶほど、思いやりあふれる、人に譲れる職場にしたいものである。